

第59巻の広告掲載会社名および商品名

アステラス製薬 (株)	ミカムロ/ミカルデイス	中外製薬 (株)	ゼロータ 他
第一三共 (株)	オルメテック/レザルタス	エーザイ (株)	パリエット
グラクソ・スミスクライン(株)	パキシル	(株) ジェイ・エム・エス	
興和創薬 (株)	リバロ	大塚製薬 (株)	ムコスタ
(株) 大塚製薬工場	エルネオパ	塩野義製薬 (株)	サインバルタ
シーメンス・ジャパン (株)	LUMINOS session	大鵬薬品工業 (株)	アロキシ
武田薬品工業 (株)	プロプレス 他	田辺三菱製薬 (株)	タリオン
(株) ツムラ	六君子湯	(株) ヤクルト本社	カンプト 他

(ABC順)

編集委員会

編集長：並木 温

編集委員：金子弘真 佐地勉 杉山篤

周郷延雄 高橋寛 高橋啓

津熊久幸 瓜田純久 (ABC順)

編集後記

先日、私が学生時代に所属し、現在顧問をしているクラブの創立40周年記念祝賀会が開かれた。創立90年を迎えようとする東邦大学の中であって40年というクラブの歴史は決して古いものではないかもしれないが、それでも創立にまつわる先輩方のご苦勞や後輩たちの活躍話などを聞くにつれ40年という時の長さを実感することができた。そして50周年に向かい各々が邁進していくことを誓い合い閉会した。

振り返って東邦医学会雑誌は今回が第59巻第4号であるから60年近い歴史があることになる(第1巻第1号は昭和29(1954)年11月1日発行とのこと)。この間、医学はめまぐるしい進歩を遂げ、医学研究の中身も大きく変貌した。これまでは不可能と思われてきた事柄が実現可能となり、私が数十年前に講義で得た知識は現在通用しないものも多い。医療の知識、技術のみならず医の倫理においても同様のことがいえる。特に、終末期医療、生殖医療、再生医療などの分野では社会的基盤の変化とともにその内容は大きく変化している。しかし、その一方で、どれだけ時代を経ても変わらないものが存在することも確かであり、医の普遍性もまた継承されていかなければならない。

あの大震災以降、「過去から学び、今を見つめ直し、未来を考える」動きがあちらこちらでなされるようになった気がする。東邦大学の医学研究はどこへ向かうのか、東邦医学会雑誌は何のために存在するのか、本誌が還暦を迎えるのを機に原点回帰してみるのも面白いかと思う。

(高橋 啓)

東邦医学会雑誌 第59巻 第4号

平成24年7月1日発行

編集兼
発行人 並木 温〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号
東邦大学医学メディアセンター内

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3762-5077

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原3-46-10

株式会社 杏林舎